

釧路川 流域委員会

NEWS
No. 7

第7回委員会を
平成16年3月2日に
開催しました。



▲第7回釧路川流域委員会の様子

釧路川
流域委員会
とは？

北海道開発局及び北海道では、今後概ね20～30年間の具体的な河川整備の内容を示す「釧路川水系河川整備計画」を策定します。このため、地域住民、学識経験者等から意見をいただくことを目的として「釧路川流域委員会」を設置しました。

平成16年3月2日(火)、釧路地方合同庁舎において「第7回釧路川流域委員会」が開催されました。委員会では、第6回委員会で示した川づくりの16項目から抽出した、釧路川水系において特に重点的に考慮すべき川づくり整備方策についての4項目の議論や、第3回釧路川下流域部会の報告等がなされました。

●治水・利水・環境に関する整備方針

今回クローズアップした具体的な5項目

1 河川環境に配慮した今後の川づくりのあり方

従来の「治水」、「利水」に加え、新たに「環境」という観点からの川づくりを目指します。

- ・必要な治水安全度を確保しつつ、多様な河川環境を保全、再生する。
- ・水環境を保全し、適切な維持流量を確保する。
- ・釧路湿原の保全に関する施策との整合に配慮する。
- ・土砂流出の抑制、制御に配慮する。



2 釧路湿原の旧川復元について

～旧川復元の意義(目的)～

- ・川本来の生物生息生育環境を復元
- ・湿原植生の再生(氾濫域の拡大、冠水頻度・地下水位の上昇)
- ・湿原らしい景観の回復
- ・湿原への土砂流入防止効果を期待



3 標茶町上流部の河床低下対策

下流(釧路湿原)への土砂流出量を低減させる対策を講じます。

- ・落差工・帯工による対策
- ・低水路拡幅・中水敷による流速低減等



4 魚類の生息環境に配慮した整備方策

シシャモの一般的生態等を踏まえ、配慮していきます。

- ・産卵床となる浅瀬の確保
- ・親魚を遡上させる河道、流量、流速を確保→現状を維持する



写真提供:流域生態研究所 所長 妹尾優二氏

5 釧路川下流(旧川部)の現況

現在の環境には本川と異なる環境が形成されています。

- ・魚類(イバラトミヨ、エゾトミヨ等)
- ・水生植物(ヒンジモ、ミクリ等)
- ・タンチョウ・キタサンショウウオ等



●第3回釧路川下流域部会の報告

第1回部会(H15.2.13)

- 現地視察
- 部会の設立について
- 釧路川下流域について

第2回部会(H15.7.4)

- 河川整備計画(素案)について
- 第1回部会意見における検討方針

第3回部会(H16.1.27)

- 縦覧・住民説明会での意見等について
- 第2回部会意見における検討方針
- 釧路川下流域河川整備計画(原案)について

釧路川下流域河川整備計画(原案)の承認

縦覧・公表・
住民説明会

報告

釧路川流域委員会

◆第7回釧路川流域委員会 審議要旨◆

■釧路川の治水・利水・環境に関する整備方策について

- 河床低下や浸食については、当該箇所の工事だけを行うのではなく、原因となる上流域も含めて検討しなければ、同じことが繰り返されるのではないかと。関係機関の農業部門を含めて、対策を検討していく必要があるのではないかと。
- 支川に多くある落差工の大半には魚道が設置されているが、どれだけ機能しているのか疑問があるので、問題点を検討するためにも、落差工の位置図を作成して欲しい。
- 標茶町上流の市街地付近は、流れが速く、河床が洗掘され、下流は農耕地等の水はけが悪く、逆に水位が上がってきている。支川のヌマオロ川では草地の拡大により、降雨が一度に流れ出て、土砂流出が問題となっており、植林など抜本的な対策が必要である。
- 釧路湿原への土砂流入は、その原因をはっきりさせないと具体的な対策がとれないのではないかと。最近は貯水能力がなくなっており、出水すると水位が上昇して、線路も冠水するので、根本的な対策をとって欲しい。
- 新釧路川の河床が埋まってきて、シシャモの産卵場所の確保が難しくなっているが、流量や掃流砂など実験的なことを行い、今よりもいい条件で産卵できる方法がないのかを検討してはどうか。
- 釧路川の旧川部に水を流すかは大きな問題である。環境面からもすぐに答えは出しにくいと思うが、同時並行で話を進める必要があるのではないかと。
- 釧路川の旧川部は、かなり以前から通水を止めており、それなりに貴重な動植物がある。岩保木水門を開けて流量を多く流すと、シシャモやサケ、マスに対する影響が大きい。魚類や昆虫、植物など多様な生物に慎重に対処しないと、将来、取り返しがつかなくなる恐れがあることから、水門を開けないで欲しい。
- 岩保木から釧路川に水を流して欲しいという考え方は、釧路市民の声としてあり、片方だけがだめという形にならないよう、考えていくことが必要である。
- 蛇行をつくることは良いと思うが、現在の選択肢としては旧川の復元だけである。直線化した区間でも既に蛇行を始めており、川の営みを助け、少しずつ蛇行をつくっていく方法もあるのではないかと。
- 流域委員会では、事務局がまとめた資料をもとに議論しているが、逆に我々が、地域の問題として意見や課題を提案していくほうが、スムーズに議論出来るのではないかと。
- 環境というのは、単に自然環境、生物環境だけでなく、人間が生活し、経済活動する周辺環境も含めた広い意味があると思う。釧路川流域でも、河川環境という広い意味で、住民ニーズに合った多目的な市民空間としての川づくりの視点で議論して欲しい。

■釧路川下流域部会の報告

- 干潟のある付近は、溢しやすい状況にあるため、干潟を残すことにより、水面が広がる形になるので、是非、残して欲しい。



▲平成16年3月3日(水) 釧路新聞

◆釧路川流域委員会 委員◆

◎は委員長
○は副委員長

所 属	職 名	氏 名	出欠
北海道旅客鉄道(株)釧路支社	支 社 長	一 條 昌 幸	○
北見工業大学 工学部	教 授	内 島 邦 秀	○
標茶町農業協同組合	組 合 長	門 田 功 一	×
釧路公立大学(地域経済研究センター長)	教 授	小 磯 修 二	◎
(株) 釧 路 新 聞 社	記 者	佐 竹 直 子	○
NPO法人トラストサルン釧路	事 務 局 長	杉 沢 拓 男	○
釧路自然保護協会	会 長	高 山 末 吉	○
財団法人 北海道環境財団	理 事 長	辻 井 達 一	○
釧路水産用水汚濁防止対策協議会	会 長	濱 隆 司	○
北海道標茶高等学校	校 長	古 屋 接 雄	○
釧 路 市	市 長	伊 東 良 孝	×
釧 路 町	町 長	菅 原 澄	×
標 茶 町	町 長	今 西 猛	×
弟 子 屈 町	町 長	徳 永 哲 雄	○
阿 寒 町	町 長	中 島 守 一	○
鶴 居 村	村 長	錠 者 和 三 郎	○

あしたを創る 北の知恵
国土交通省
北海道開発局

釧路開発建設部治水課
〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地
TEL(0154)24-7000
http://www.ks.hkd.mlit.go.jp

北海道釧路土木現業所事業部治水課
〒085-0006 釧路市双葉町6番10号
TEL(0154)23-6111
http://www.pref.hokkaido.jp/kensetu/kn-ksrdg/index.htm